

1 調査名称：東大阪市総合交通戦略策定に向けた検討業務

2 調査主体：東大阪市

3 調査圏域：東大阪市街地

4 調査期間：平成29年8月29日から平成30年3月29日

5 調査概要：

本市において公共交通の基幹軸となる鉄道路線については、現在、**JR** 学研都市線、**JR** おおさか東線、大阪市営地下鉄中央線、近鉄奈良線、近鉄大阪線、近鉄けいはんな線が運行しており、近鉄奈良線については、連続立体交差化事業を実施中であり、それに伴った周辺整備（都市計画道路、駅前広場等）が進められている。また、大阪モノレールについては、平成**31**年度以降に事業着手が予定されており、本市の公共交通網が更に充実する見込みである。

一方で高齢化と人口減少が進展すれば、公共交通に対する需要が変化し、利用者の確保が困難になることから、公共交通サービスの低下が予測される。このような公共交通サービスの低下は更なる公共交通利用者の減少、自動車交通への転換へとつながり、都市交通の課題を拡大させるほか、市内定住へのマイナス要素となり都市の発展を妨げることとなる。

そこで、本業務は、本市における都市交通の現状を把握し課題を整理した上で、都市交通の将来像を明確にし、総合的かつ戦略的な交通施策を展開するべく、総合交通戦略策定に向けた検討を目的に実施するものである。

I 調査概要

1 調査名称

東大阪市総合交通戦略策定に向けた検討業務

2 報告書目次

1. 業務の概要

1-1 業務の目的

1-2 業務概要

1-3 業務フロー

2. 計画準備

3. 現況把握

3-1 市の概況

3-2 本市の交通状況

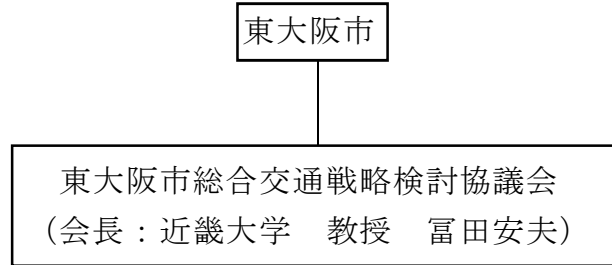
3-3 現況把握のまとめ

3-4 住民アンケート調査

4. 課題整理

5. 会議等の補助

3 調査体制



4 委員会名簿等：

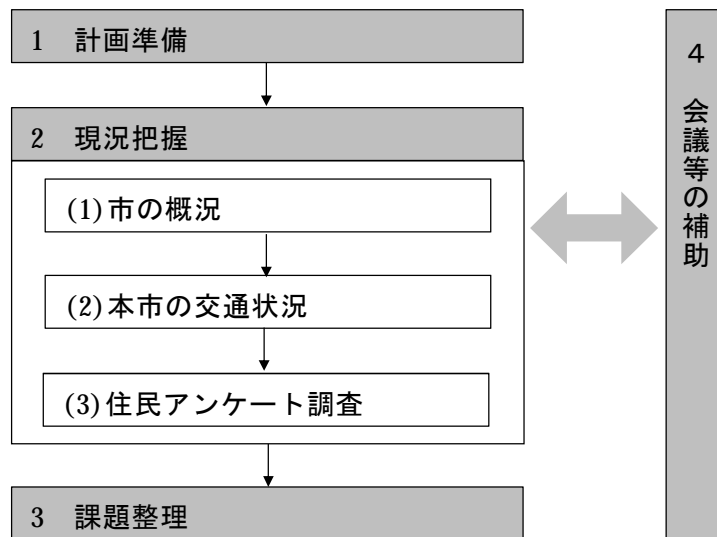
| | |
|--------------|-------------------------------------|
| 学識経験者 | 近畿大学 経営学部 教授 高橋 愛典 |
| | 近畿大学 理工学部 社会環境工学科 教授 富田 安夫 |
| 交通事業者 | 一般社団法人 大阪タクシー協会 東亜交通株式会社 代表取締役 |
| | 大阪市交通局 経営管理本部 経営管理部 経営企画課長 |
| | 大阪バス株式会社 代表取締役 |
| | 近畿日本鉄道株式会社 総合企画本部 計画部 課長 |
| | 近鉄バス株式会社 営業部 乗合営業課長 |
| | 西日本旅客鉄道株式会社 大阪支社 総務企画課長 |
| 交通管理者 | 大阪府河内警察署 交通課長 |
| | 大阪府枚岡警察署 交通課長 |
| | 大阪府布施警察署 交通課長 |
| 市民団体等 | 一般社団法人 河内医師会 理事 |
| | 週刊ひがしおおさか 代表 |
| | 東大阪市小売商業団体連合会長 |
| | 東大阪市自治協議会 まちづくり部会長 |
| 行政関係者 | 大阪府 都市整備部 交通道路室 道路整備課 参事 |
| | 大阪府 八尾土木事務所 地域支援・企画課長 |
| | 国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 総務企画部門 首席運輸企画専門官 |
| | 国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 輸送部門 首席運輸企画専門官 |
| | 国土交通省 近畿地方整備局 建政部 都市整備課長 |
| | 東大阪市 副市長 |
| | 東大阪市 建設局長 |
| 東大阪市 建設局 副技監 | |

II 調査成果

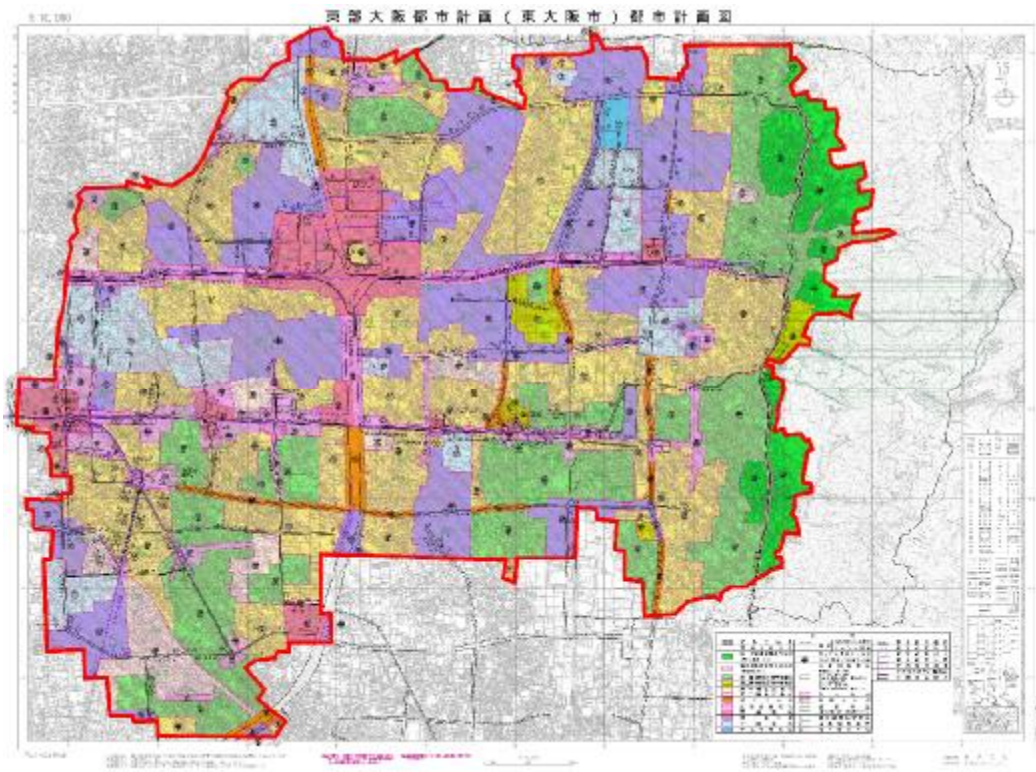
1 調査目的

今後の少子高齢化社会を見据え、本市における都市交通の現状を把握し課題を整理した上で、都市交通の将来像を明確にし、総合的かつ戦略的な交通施策を展開するべく、総合交通戦略策定に向けた検討を目的とする。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

東大阪市総合交通戦略策定に向けた検討業務

Table with 2 main columns: 項目 (Item) and 内容 (Content). It details demographic and transportation characteristics of Osaka East City, including population trends, vehicle ownership, and public transit usage.

東大阪市総合交通戦略策定に向けた検討業務

3 課題整理

Diagram showing the relationship between '現状特性' (Current Characteristics) and '【東大阪市の交通に関する課題】' (Issues related to transportation in Osaka East City). It lists specific challenges such as population decline, aging, and the need for improved public transit and safety measures.